

安定供給という使命を果たすため、 全社一丸となって努力を続けてまいります。

不測の事態に柔軟な対応を試み、 火力・水力発電を中心とした供給力確保に努めました。

関西電力では、東日本大震災発生当時、美浜発電所1号機(34.0万kW)、高浜発電所1号機(82.6万kW)が定期検査のため停止中でした。大震災以降、稼働中の原子力プラントが予定通り定期検査に入る一方で、定期検査中のプラントの再稼働の見通しが不透明になってきたため、火力発電所や水力発電所を中心とした供給力確保対策をすすめました。当初予定した揚水発電所(奥多々良木発電所)の工事時期を延期し、火力発電所の定期検査期間を短縮するとともに、トラブルで停止した舞鶴発電所1号機(90.0万kW)、姫路第二発電所5号機(60.0万kW)を早期に復旧。また自社保有する石炭輸送船をフル稼働して、燃料調達に努めました。その他、自家発電設備をお持ちのお客さまやPPS(特定規模電気事業者)からの電力購入の上積みや、他電力からの融通受電など、さまざまな手だてを尽くすとともに、火力発電所の出力向上運転の準備なども行いました。



奥多々良木発電所の多々良木ダム



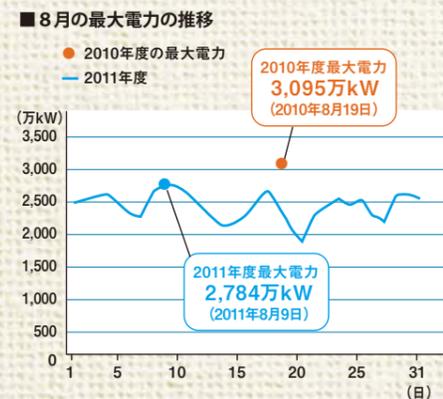
早期復旧した舞鶴発電所



石炭輸送船「MAIZURU DAIKOKU」

大規模停電を回避するため、夏の需要ピークを下げる 15%程度の節電をお願いいたしました。

関西電力では、さまざまな供給力確保の対策をすすめてきましたが、本格的な夏を迎える7月以降、急激な気温上昇により、需要が供給力を上回るおそれがあると判断。6月10日、お客さまに7月1日～9月22日(8月12日～16日を除く)の平日9時～20時(ご家庭では、特に13時～16時)において、電力需要のピークに対して15%程度を目安とした節電へのご理解とご協力をお願いいたしました。電気の安定供給を使命とする関西電力として苦渋の決断であり、お客さまや社会のみなさまにご不便とご迷惑をおかけしたことに深くお詫び申し上げます。



みなさまの多大なご協力のおかげで、 今夏の停電を回避することができました。

関西電力は、直接のご訪問やダイレクトメールの送付、チラシのお届け、さらにはテレビCMや新聞広告など、さまざまな機会や方法を通じて、お客さまに節電へのご理解とご協力をお願いいたしました。また、ホームページには「でんき予報」を設け、毎日の電気の需給情報をお知らせするとともに、お客さまからのお問い合わせに対しましては、節電お問い合わせ専用ダイヤルを設け、丁寧にお応えしていくことに努めました。その結果、お客さまや社会のみなさまによる多大なご協力に加え、今夏の気温が昨年比べて低かったことなどから、停電を回避することができました。改めてご不便とご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、ご協力に厚くお礼を申し上げます。



社屋ビルの垂れ幕

電気の需給情報をお知らせする「でんき予報」



節電へのご協力をお願いするテレビCMやチラシなど



厳しい状況ではありますが、 関西電力は安定供給に向けて全社を挙げて取り組みます。

関西電力グループは、今冬の電力の安定供給に向けて、供給力の確保に最大限の努力を尽くしてまいりましたが、未だ停止中の原子力プラントの再稼働時期が見通せない中、電力需給は大変厳しくなると見込まれるため、今冬につきましても、節電へのご協力をお願いするに至りました。お客さまに、今夏に引き続きご不便、ご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。関西電力は、最大の使命である電力の安全・安定供給を果たすため、全社一丸となって努力を続けてまいります。